I-O DATA

取扱説明書

WQHD 対応 27 型ワイド液晶ディスプレイ

LCD-MDQ271A

HDMI

MANU001351

レシート・納品書は本書に貼って保管してください

修理の際には、購入日・型番の証明（レシート・納品書など）が必要です。
レシート・納品書などは、本書に貼り付けて大切に保存してください。

レシート・納品書　貼付位置

組み立て時・調節時のご注意

液晶パネル（液晶画面）が故障または破損する原因になります。
- ●本製品を床などに落とさない
- ●液晶パネルを傷つけない
- ●液晶パネルを手で押さえない

プラスドライバーをご用意ください

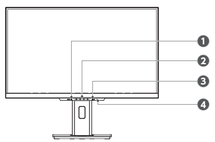
組み立て時に必要です。

添付品を確認する

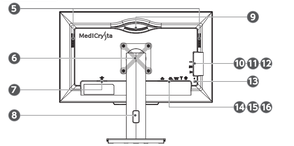
- □ 台座
- □ 台座ネック
- □ 台座ネック取付ネジ（4 本）
  ※台座ネックに貼付
- □ DisplayPort ケーブル
- □ DVI ケーブル
- □ 電源コード
- □ USB ケーブル［A-B USB 2.0］

各部の名称・機能

前面



背面



❶ MODE ボタン：画面モードを［DICOM］↔［標準］で切り換えます。

❷ 操作ボタン：メニューを表示・操作します。

❸ 電源ボタン：電源を入 / 切します。

❹ 電源ランプ：本製品の状態を表します。

青点灯	電源入
オレンジ点灯	待機状態
消灯※	電源切

※設定によっては、電源切以外の状態でも消灯するようにできます。

❺ スピーカー：音声を出力します。

❻ VESA マウントインターフェース：100x100 mmに対応したモニターアームなどの取り付けに使います。

❼ AC POWER IN 端子：添付の電源コードで電源コンセントにつなぎます。

❽ ケーブルホルダー：ここにケーブルを通すと、すっきりと束ねます。

❾ 持ち手：本製品を運ぶ際、ここをつかんで持ちます。

❿ 🎧：ヘッドホンをつなぎます。
※ヘッドホンを装着したままつながないでください。

⓫ USB-A（2 ポート）：USB-B でつないだパソコンの USB ハブとして機能します。また各ポート 500mA までの給電ができます。
※ ポータブル SSD、ポータブルハードディスク、ポータブル光学ドライブには使えません。

⓬ USB-B：添付の USB ケーブルでパソコンにつなぎます。
上記の USB-A が機能します。またキャリブレーションの際にもつなぐ必要があります。

⓭ セキュリティスロット：ケンジントン製ロックを取り付けられます。

⓮ 映像入力端子（DisplayPort、HDMI、DVI）：映像機器からの映像と音声を入力します。

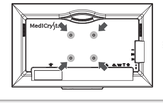
⓯ AUDIO IN：DVI でつないだパソコンの音声を、オーディオケーブル（別途用意）で入力します。

⓰ USB SERVICE：通常は使いません。システム更新に使います。

設置する

モニターアーム（VESA）に取り付ける

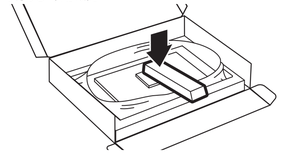
- ●固定用ネジ：M4×12mm（モニターアームの金具の厚みにより異なる）
- ●本製品質量：約 4.9kg（ネック・台座除く）
- ●VESA マウントインターフェース：100mm×100mm
- ●締付けトルク：0.9～1.1N・m（9～11kgf・cm）
- ●最大上下傾き：上 20°　下 5°
- ●最大回転：左 90°　右 90°



※ドライバーを使ってネジを締付けてください。スパナーなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。

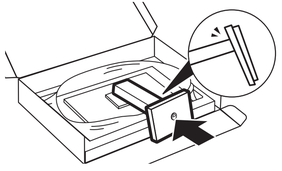
1 ネックを取り付ける

本体を覆っている袋を軽く開け、添付のネジでネックを取り付ける（4 か所）。



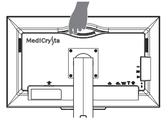
2 台座を取り付ける

ネックに台座を当て、台座のネジを回して固定します。
※ ネジの金具を起こし、時計回りに回します。締わったらネジの金具を倒してください。
※ ネジが緩後まで回っているかご確認ください。

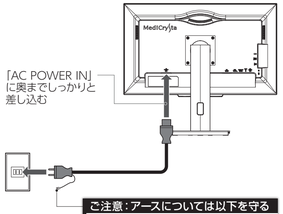


3 机などの平らな場所に設置する

本製品を起こし、持ち手を持って運びます。



4 電源コンセントとつなぐ

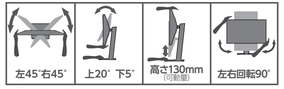


「AC POWER IN」に奥までしっかりと差し込む

ご注意：アースについては以下を守る

- ●必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
- ●電源プラグを抜いてから、アースを外す
  守らないと、発火・感電の原因になります。

5 画面の位置・向きを調節する



※手や指をはさまないように注意してください。
※ケーブルは、はさんだり、引っ張ったりしないように、余裕を持って取り回してください。
※回転する際は、ケーブルホルダーからケーブルを外してください。

パソコンの映像を回転させる方法

Windows

画面回転アプリ「クルッとな」をお使いください。
https://www.iodata.jp/lib/product/etc/4242.htm

macOS

① ［システム環境設定］を開き、［ディスプレイ］をクリックする
② ［回転］を設定する
（［回転］がない場合、縦に表示できません）

パソコンや映像機器とつなぐ

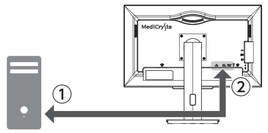
① パソコンや映像機器の映像出力端子に映像ケーブルをつなぐ

- DisplayPortケーブル
- HDMIケーブル
- DVIケーブル

② ①の映像ケーブルを本製品の映像入力端子につなぐ

- DisplayPort
- HDMI
- DVI※

※ オーディオケーブルを別途用意し、パソコンの音声出力と本製品の［AUDIO IN］につなぐ。



映像入力端子と解像度

映像入力端子	最大解像度	
HDMI	2560x1440	(75Hz)
DisplayPort	2560x1440	(75Hz)
DVI	1920x1080	(60Hz)

使う

電源を入れる／切る

⏻ ボタンを押します。

表示する映像を切り換える

① **MODE** と⏻以外の4つのボタンの内、どれかを押します。
② ［入力切換］のボタンを押します。
③ 表示する映像を入力端子名で選びます。

画面モードを切り換える

MODE ボタンを押します。

画面モードについて

画面モードは、映像に適した画面設定を保存したものです。
本製品には画面モードが 2 つあります。
［DICOM］：DICOM に適した映像を出力するための画面設定です。
［標準］：一般的な映像を出力するための画面設定です。
※ 本製品は医療用機器ではありません。

音量を調節する

① **MODE** と⏻以外の4つのボタンの内、どれかを押します。
② ［音量］のボタンを押します。
③ 音量を調節します。

画面の明るさ（輝度）を調節する

① **MODE** と⏻以外の4つのボタンの内、どれかを押します。
② ［輝度］のボタンを押します。
③ 輝度を調節します。
※［DICOM］画面モード時、輝度の調整をしないでください。

詳細な設定をする（スタートメニュー）

① **MODE** と⏻以外の4つのボタンの内、どれかを押します。
② ［メニュー］のボタンを押します。
⇒ スタートメニューが開きます。
③ ［メインメニュー］を選んで、［決定］のボタンを押します。
メインメニューでは、詳細な設定ができます。

お気に入り機能

本製品には、よく使う設定項目を「お気に入り」として登録する機能があります。
「お気に入り」として登録した設定項目はスタートメニューに表示され、メインメニューを開くことなく呼び出すことができます。
◆お気に入りを登録するには
スタートメニューからメインメニューを開き、登録したい項目で［決定］のボタンを 3 秒間押し続けます。

メニュー操作を無効化する（メニューロック）

MODE と⏻以外の4つのボタンの内、左から 2 番目のボタンを 3 秒間押し続けます。
解除も同様の操作でできます。

設定については、『詳細ガイド』をご覧ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd-mdq271a/

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ずご観察頂きますようにお願いします。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

⚠ 警告

本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードに触れない
感電の原因になります。

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
●雨に降られる場、雨天、降雪中、海岸、水辺では使わない
●水のようなもの（コップ、花びんなど）を上に置かない
●万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない

添付の電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。

電源コードは、添付品または指定品のものは許を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがある場合にはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったゴリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。

雷雨に設置しない
万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。

液晶パネルの表面を傷つけない
●画面を強く押したり、衝撃を与えたりしない
画面にヒビが入ると、破損や故障、けがの原因となることがあります。
●画面を先のとがった物で押さない
破損や故障、けがの原因となることがあります。
●硬いものでこすったり、たたいたりしない
破損してけがの原因となることがあります。

本製品の取り付け / 取り外し / 移動の際は、必ず先にパソコン本体・周辺機器およびお製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜く
電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

樹脂製のビニール袋や取り外した小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
ビニール袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。包装材は、開封後すぐに捨ててください。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

本製品の周辺に物を置かずまたがるような物を置かない、通風孔をふさがない
発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発熱、発火の原因になります。

煙が出たり、変な音いや匂がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよごれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コードに傷がつき、発火や感電の原因になります。

接地接続について以下を守る
接地接続はさず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破損し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。
●液体が目や口に入った場合：すぐに水で 5 分以上洗い、医師の診断を受けてください。
●皮膚や衣服に液体が付着した場合：すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸でよく洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。

⚠ 注意

眼精疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見る作業を続けるときは、ディスプレイ画面の明るさ、書類およびキーボード面における明るさと周辺の明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間に10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

ディスプレイの角度などを調節時に、指をはさまないよう気をつける

電源を入れた状態で、あお向け、横たおし、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火の原因になります。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

以下のような場所で保管・使用しないけがや故障の原因になります。
●振動や衝撃の加わる場所　●暖いた場所　●高湿度 ガス雰囲気中 (Cl2、H2S、NH3、SO2、NOx など)

使用上の注意



■取り扱いについて

液晶パネル(画面)を押さえたり、
衝撃を与えないでください。
破損や故障の原因になります。

■設置箇所について

高所に設置しないでください。万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。

■画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。

- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

■お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。
  変質やひび割れなどの原因になります。
- 液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
  放置しておくと液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。
  また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。

※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

■有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品(バックライト、アルミ電解コンデンサーなど)が含まれています。
- 有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境(温湿度など)等の条件により異なります。

■連続使用について

本商品は、一般家庭やオフィスでの使用を想定して設計しており、24時間連続使用を前提とした商品ではありません。
有寿命部品の消耗を加速させる原因となりますので、24時間連続でのご使用は避けてください。

■その他

- 直射日光が当たる場所で使用・保管しないでください。変形や変色の原因になります。
- お使いにならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- 液晶パネル上に滅点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合があります。これは、液晶パネル自体が 99.9999%以上の有効画素と 0.001%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。
  故障、あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 見る角度や温度変化によっても色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

困ったときには



音が出ない

- HDMI か DisplayPort でつないでいる場合
  Windows
  ① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
  ② [再生デバイス]をクリック
  ③ 本製品を選び、[規定値に設定]をクリック
  macOS
  ① システム環境設定の[サウンド]をクリック
  ② [出力]タブをクリック
  ③ 本製品を選ぶ
- DVI でつないでいる場合
  オーディオケーブル(別途用意)を、パソコンの音声出力と本製品の[AUDIO IN]につないでください。
- 機器側の音量を確認してください。
- 本製品の音量を確認してください。
- ヘッドホンをつないでいませんか？

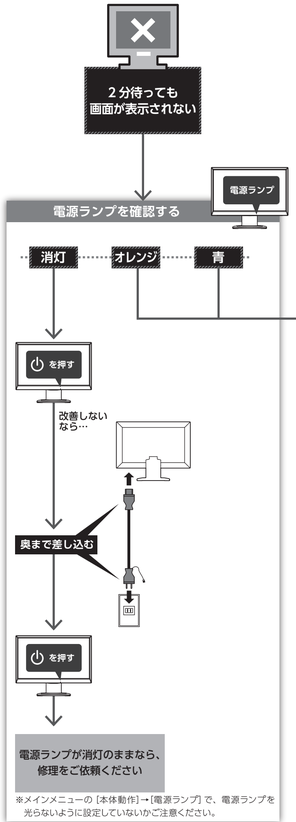
画像などが通常と異なって表示される

DICOM 形式でない映像を表示しています。
MODE ボタンを押し、画面モードを「標準」に切り替えてご覧ください。

※本製品はご購入時、DICOM 形式に適した画面モード「DICOM」に設定しています。MODE ボタンを押すことで、通常の映像用の画面モード「標準」に切り替わります。

ドット抜けがある(赤や緑などの動かない点がある)

液晶パネルが 0.001 %未満の画素欠けや輝点を持つことによるものです故障ではありません。
修理交換対象になりませんので、ご了承ください。



アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。なお5年以前であっても一部OS搭載製品において、搭載OSのサポートが終了した場合は弁社で終了とさせていただきます。(保証期間内及び弊社有償保守サービス実施可能期間内の場合は除く)
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(https://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ総合窓口/修理窓口

保証期間**5**年間

https://www.iodata.jp/support/after/tel/lcd.htm

電話でのお問い合わせ

050-3116-3019

受付 9:00～17:00 月～日曜日(年末年始・夏期休業期間をのぞく)

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

修理の流れ

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込 (申込番号発行)	修理センター に送付	検査	有償時のみ 見積連絡	修理	修理品 返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなと、申込番号が発行されます。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL(FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

□ 商品一式
□ 申込番号を書いたメモ(Webや入力に発行された番号)
□ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-660-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時および返信ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持ってはパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただくことにより、お買い上げ日より5年間(ただし、本製品の使用時間が30,000時間を超えないこと)無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法またはお注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたは客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関して責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機器を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップ(もしくは別の記憶媒体にデータを複製)してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて直until処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に関した直接的あった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該現金を修理し、または同等品もしくは同等品に交換いたしますが、当該現場に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外での使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

液晶ディスプレイの回収・リサイクル

弊社では製品のリサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めています。
液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いいたします。

法人のお客様は

弊社では、法人のお客様がご不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・リサイクルのご案内や料金の見積もりをおこなっております。
詳細は、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口
https://www.iodata.jp/recycle_h/

ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で排出される弊社製液晶ディスプレイのリサイクルを実施しています。
回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。
この取り組みを通じて、弊社はユーザーの皆様とともに地球環境保全の活動を進めてまいります。弊社が無料で回収・再資源化いたします。
お申し込みについては、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口
https://www.iodata.jp/recycle_k/

【VCCI 規格について】

この装置は、クラス B機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

【J-Moss について】

この装置は、「電気・電子機器の特定化学物質の含有表示方法 (JIS C 0950)」、「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク・ガイドライン」に基づきグリーンマークを表示しております。化学物質の含有情報は以下をご覧ください。
https://www.iodata.jp/jmoss/

【ユーザー登録はこちら】→https://iooportal.iodata.jp/

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
(例：ABC123456ZZX)

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用または組み込んでの使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support and after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

- ご記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレス、および HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

【商品アンケートはこちら】

よりよい商品作りのため
アンケートにご協力願います。